

令和7年度（上期）
指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課： 市民自治部 まちづくり室 まちづくり推進課

1. 基本情報

020107

施設名	伊丹市立市民まちづくりプラザ		
施設の設置目的	市民の参画と協働によるまちづくり活動の推進を図る。		
伊丹市総合計画 （第6次）に おける関連施策	政策大綱：市民力・にぎわい・活力 施策：市民力・地域力 実施施策：市民活動団体等の活性化		
指定管理者 の名称	特定非営利活動法人 宝塚NP0センター （団体の住所又は所在地） 宝塚市栄町2-1-1 ソリオ1-3F		
選定方法（公募・非公募） 及び指定期間	公募	令和7年4月1日～令和12年3月31日	
管理運営上 の目標 （管理運営の指定管 理者の具体的目標）	指標名	講座参加者数（単位：人）	
	指標の意味	講座に参加した市民の人数	
	今年度の目標値	450	上期の実績値 405

2. 利用状況

利用状況等 の推移		R2	R3	R4	R5	R6	R7 （上期）
	講座開催回数（回）	64	60	68	63	67	38
	講座参加者数（人）	585	594	697	785	870	405

3. 経費情報

	区分		令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025) 計画	令和7年度 (2025) 実績(上期)
収入	使用料収入		0	0	0	0
	事業収入		4	21	0	0
	その他		0	0	0	0
	指定管理委託料		7,490	7,490	11,035	5,543
	①合計		7,494	7,511	11,035	5,543
支出	維持 管理	光熱水費	0	0	0	0
		清掃等委託料	0	0	0	0
		土地建物賃料	0	0	0	0
		修繕料	55	67	50	0
	運営	人件費	6,137	5,052	9,214	4,292
		事業等経費	877	840	1,771	701
		その他	0	0	0	0
		指定管理納付金	0	0	0	0
		②合計		7,069	5,959	11,035
純収支（①－②）		425	1,552	0	550	

施設の管理運営 に係る実質経費 （市の負担）※ 〈単位:千円〉		R2	R3	R4	R5	R6	R7 （上期）
	市の収入	0	0	0	0	0	0
	（内、使用料収入）	0	0	0	0	0	0
	市の支出	7,490	7,490	7,453	7,490	7,490	5,543
	（内、指定管理委託料）	7,490	7,490	7,453	7,490	7,490	5,543
実質経費（歳出－歳入）		7,490	7,490	7,453	7,490	7,490	5,543

※施設建設・大規模改修等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目		(具体的内容)	評価結果			
			指定管理者自己評価		施設担当課評価	
			評価	特記事項	評価	担当課所見
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	A	業務スペース及びカウンターは定期的に清掃を行い、快適に利用できる環境を整えている	B	施設は清潔に保たれており、事務作業や来客対応に適した配置となっている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	A		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	A		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	A		B	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	通勤事情などにより、一部適切に人員を配置できないことがあったが、通勤路の変更や、より適切な連絡体制をとることで、現在は改善している。	A	仕様に定める業務内容を遂行するのに必要な能力を備えた人員を配置している。また、職員の出勤状況を本部で確認する仕組みを構築している。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	A		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	—		—	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	A	緊急マニュアルを作成し、適切な対応を心掛けている。スワンホール主催の防犯訓練に参加した。	B	緊急時に必要とされる連絡体制を整備している。
		避難訓練を実施しているか。	A		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	常にサービスの向上を心掛けており、登録団体や個人への対応が、適切に執り行われている。また、講座ごとにアンケートを実施し、利用者の意見を反映できるように心掛けている。	A	利用者の意見を聴取しながら、随時新規の事業や取組について検討・実施している。また、トラブルが発生した際にも迅速に対応している。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	A		A	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A		A	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	A		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	施設の設置目的を達成するため、事業を滞りなく実施している。	A	講座参加者数は通年の計画地に迫っており、設置目的に沿った事業を実施している。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A		A	
	個人情報保護・情報公開への取組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	A	各種書類は鍵付きのキャビネットなどに適切に保管している。登録団体のメールアドレスの流出があったが、繰り返さないためのセキュリティ改善の研修を受け、意識の向上につながった。	B	ホームページやSNSをはじめ、多様な媒体で積極的に情報発信を実施している。また、情報セキュリティに係るトラブルについても適切に対処した。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A		A	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	A	安定的に運営をし、経理処理など適切におこなった。	B	予算執行及び帳簿管理は適正である。
		経理処理は、適切に行っているか。	A		A	

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。
「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。
「—」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	講座参加者数は令和7年度の目標に迫っており、通年では達成が見込まれる。相談対応においては、利用者の助成金獲得や法人化の登記など、利用者の目的達成に結びつく適切な支援が実施できており、情報発信でも、本施設や登録団体の情報を積極的に発信している。
総合評価	A

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。
「B」＝取組状況の水準が普通である。

「A」＝良好である又は成果があった。
「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】

令和7年4月1日 ～ 令和7年9月30日

実施の有無	主な回答	主な対応
有	<p>■講座参加への満足度 大変満足 59% 満足 38% 普通 2% やや不満 1%</p> <p>■講座参加のきっかけ ①まちプラからのお知らせ・SNS 30% ②友人知人からの紹介 29% ③伊丹市 広報誌・HP 26% ④チラシ 13%</p> <p>■今後参加したいイベント (広報・SNS・HP)(地域交流)(デジタル化 AI)(コミュニティビジネス)(団体運営)(事例紹介)</p>	講座参加への満足度では、わずか3%ではあったが「普通」や「やや不満」があったため、改善できるように心掛けた。また、「今後参加したいイベント」では、(広報・SNS・HP)や(地域交流)などがあがり、今後開催する講座の参考にすることとした。
回答者数		
95		

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置